

うるま市の蝶
シリーズ③

オオゴマダラ



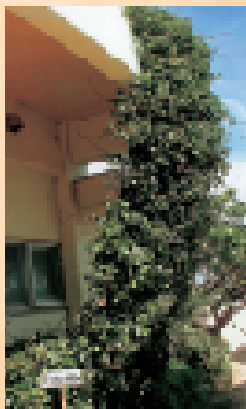
中部病院に植樹されているホウライカガミ

ホウライカガミがオオゴマダラを呼び!!

ちょうの幼虫はそれぞれ、特定の草や木の葉を食べて大きくなります。オオゴマダラの食草はホウライカガミです。オオゴマダラはホウライカガミの葉の裏に卵を産み付けます。ホウライカガミ以外の草木の葉に卵を産み付けることはありません。幼虫は孵化するとその葉を食べて大きくなり、蛹を経て、やがて優雅なちょうになります。

うるま市内には150箇所以上のホウライカガミの植栽地があります。うるま市本庁舎横の市民広場、市民芸術劇場、総合運動公園、公民館、保育園、幼稚園、児童館、小中学校、少年自然の家、中部病院、じんぶん館、水道局庁舎などの構内に植えられています。ご家庭に植えられたホウライカガミも多く見受けられるようになりました。ホウライカガミがあるところにオオゴマダラは訪れます。ホウライカガミを植えて、うるま市のシンボルに

決定されたオオゴマダラの飛び交う姿を楽しんでみてはいかがですか!



田場幼稚園に植樹されているホウライカガミ

文・写真

うるま市ちょうちょう愛好会

こはま はじめ
小 浜 一

羽ばたけ!! スポーツ少年団



バレー
ボール

兼原フレンズ

「笑顔で声を出そう」をモットーに、嘉陽田朝光監督、宮城安則コーチの指導のもと、部員12名で兼原小学校体育館を拠点に練習に励んでいます。

平成18年中頭地区新人大会では、準優勝に輝いた実績があり、現在5年生を主体に大型選手を揃え、コンビバレーと、粘りのあるチームプレーで上位入賞を目指します。

県大会では「とにかく勝て」と嘉陽田監督のコメントは控えめですが、全国大会へのキップを獲得するために宮城コーチの厳しい練習に選手の目は輝いています。

「夢実現・目指せ全国大会出場」を合言葉に、父母からの激励と期待が高つています。

前原ルーキーズ



野球

昨年、チーム創立10周年を迎え「どうせやるなら元気を出して楽しくやろう!」を合言葉に、古謝文次代表、上運天健志監督、上原昌一・平良俊明コーチの指導のもと、伊波小学校に通う1年生から6年生までの選手58名が毎日楽しく野球に取り組んでいる。

今年のチームは小柄ながら、個性派揃いで、互いに競争しいながらレベルアップを図っている。

また、野球に限らずボランティア活動もチームの活動方針で、24時間テレビの募金活動や地域の清掃活動にも頑張っている。

「勉強はもちろん、野球を通して丈夫な体と強い心、そして周りの人たちへの優しさや思いやりを身に付けて欲しい」と、監督や父母はこれからの子ども達の成長に期待している。